



兵庫県臨床検査技師会

Hyogonews

令和7年2月

HYOGO
ニュース
No.393

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稔雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL http://www.hamt.or.jp

CONTENTS	令和6年度公衆衛生協会長賞(公衆衛生功労)を受賞して、検査と健康展を開催して	1
	検査セミナーに参加して	2
	令和6年度第2回東播地区ナイトセミナーに参加して、#研究班(一般検査研究班)	3
	[第6回] 突撃! となりの検査室(公立村岡病院)	4
	会員グルメ情報	5



令和6年度公衆衛生協会長賞(公衆衛生功労)を受賞して

土井 真弓 会員(川崎病院)

この度は、兵庫県臨床検査技師会より推薦され、兵庫県公衆衛生協会長(公衆衛生功労)の表彰をして頂き、誠に有難うございました。

臨床検査技師として40年、今までのことを振り返りますと、生化学研究班員として酵素項目の標準化や、事業部として精度管理に取り組んで来た事でしょうか。

以前は、各施設の各機器で分注量や光源ランプの精度差があるにもかかわらずモル吸光係数と試薬、サンプル量から計算されたKファクターを使用しており、データにバラツキがありました。標準化するため、装置定数を各施設、各機器で計算して頂く様キャラバン隊を組んで廻りました。当時は、ディスペンサーライフの機器も多く、試薬の入替えに大変だったと思います。関して開催した六甲セミナーでは多くの方に参加して頂き、有難うございました。今では酵素キャリブレータなるものが出来、便利になりました。

また、事業部精度管理担当理事として任務していた際、阪神淡路大震災が起きました。雪の御所公園で仮設検査室としてテント内で検査を行い、血算や生化学項目の精度管理を行ないました。毎日ボランティアの方々が来て検査をいたします。私は病院から昼休憩時に自転車で走り、機器の精度管理のお願いをしました。災害時でもこれくらいは出来る!!という事で、その結果は日臨技の医学検査に兵臨技として投稿しています。

この度、この賞を頂くに当たり昔のことを懐かしく思い出す事ができました。松田会長はじめ役員の皆様に感謝し、お礼申し上げます。若い臨床検査技師の方達に盛り立てて頂き、兵庫県臨床検査技師会の益々の発展を祈念しております。本当に有難うございました。



組 検査と健康展を開催して 織

澤村 暢 会員(公益事業部長)

令和6年11月4日(日)、神戸市長田区にある神戸常盤大学で開催されたKOBE TOKIWAふれあい健康フェスタ2024の共催企画として、「検査と健康展」を実施しました。

健康チェックコーナー(頸動脈エコー、体組成測定、Hb測定、血管年齢測定、骨密度測定)と兵庫県臨床検査技師会広



報ブースを設け、地域住民の健康チェックを行うとともに、臨床検査技師の仕事内容を紹介しました。

健康チェックの参加者数は、頸動脈エコー258名、体組成測定100名、Hb測定271名、血管年齢測定210名、骨密度測定244名と多くの方々にご参加いただき、非常に盛況な企画となりました。



210名、骨密度測定244名と多くの方々にご参加いただき、非常に盛況な企画となりました。

参加者の中にはリピーターの方もおられ、地域の皆さまが健康に対して高い関心をお持ちであり、このような機会を心待ちにされていることを改めて実感いたしました。

今年度の「検査と健康展」も、リピーターを含む多くの方々が健康チェックや子ども向け体験ブースに参加し、地域住民への健康意識の向上や臨床検査技師という職業について理解を深める貴重な機会となつたと感じています。

検査セミナーに参加して

高田 棱雅 会員（広報部）

令和6年12月14日(土)14:00～16:00に、兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会との共催で、「検査セミナー」が神戸市教育会館にて開催されました。会場とZoomを用いたオンラインでのハイブリット形式で行われ、多数の方々にご参加頂きました。

今年度のテーマは“見えない敵とどう戦うか～がんと微生物に対する両面作戦～”として、著名な講師の先生方にご講演頂きました。質疑応答も多く、非常に有意義な研修会となりました。

講演1の黒田先生からは、がん患者などの免疫不全者の呼吸器感染症(COVID-19も含む)をテーマに、各論を交えながら診断・治療・感染対策についてお話頂きました。

2013年時点の米国の全人口の2.7%が免疫不全者であり、肺炎の罹患リスクが上昇している免疫不全者は増加傾向にあるそうです。現在では免疫不全をきたす疾患・病態の認識が進み、新規の免疫修復作用のある薬剤の承認も行われているが、免疫不全といつても多種多様であり、「どの免疫」が「どの程度低下しているのか」が重要であると教わりました。

我々検査技師としては、好中球減少症や正しい微生物学的診断などの理解を深めていくことが非常に重要であると感じました。

講演2の山本先生からは、がんと微生物をテーマに、微生物検査室の役割や、がん治療と微生物についてお話頂きました。

がんの発生に関連する微生物としてヒトパピローマウイルス(HPV)や*H.pylori*などを例にあげ、適切な微生物検査による早期治療が死亡率を改善させるとお話ししていました。

また、同定を20分で可能にする検査機器や多項目を同時に検査する機器も新たに導入されつつあるため、この機会に見直し検討する事も必要かもしれません。

本セミナーのような講演会に参加することで普段関わらないような内容も学べ、検査技師として理解を深める良いきっかけにもなりました。

会員の皆様も日々進歩する現代の医療を学ぶことができる「検査セミナー」に、今後もご参加下さい。



令和6年度第2回東播地区ナイトセミナーに参加して

片山 寿貴 会員 (高砂市民病院)

今回、血液ガス検査について興味があつたため、東播地区ナイトセミナーへ現地参加させていただきました。講義はとてもわかりやすく、特に酸素投与患者のPaO₂データの解釈はよく理解できていなかつたので、FiO₂やP/F比のお話を聞けてよかったです。今後データを読むときに使いこなせるようになりたいと思いました。また、2つの回転軸で1分程度きりもみする、室温で30分以内に測定する、という適切な検体の取り扱いについても学ぶことができ、翌日の業務から実践しています。



研修内容とは関係ないのですが、今回、オンライン参加ではなく現地参加させていただいたのは、検査の運用のことで他施設の方に聞いてみたいことがあつたためです。実際に現地参加されていた方も多く、研修会終了後に他施設の方と情報交換することができました。今回のような研修会がオンラインでも開催されるようになり便利になりましたが、このように地域の臨床検査技師の方々と直接交流できる機会が貴重になり、大切にしないといけないと改めて感じました。

令和6年度第2回東播地区ナイトセミナーに参加して

中谷 美穂 会員 (明石市立市民病院)

令和6年12月6日に開催された第2回東播地区ナイトセミナーに現地にて参加させていただきました。

今回は「血液ガス分析の アイウエオ」というテーマで、血液ガスを測定する意義から検体の取り扱い、結果の評価までご講演いただきました。普段当直時に血液ガスを測定することがあってもその結果まで評価することができないため、今回基本的な知識から分かりやすくご講演いただき、理解が深りました。特に、一見PaO₂が正常範囲内でも酸素投与中だと評価が変わってくるため酸素化能はP/F比で評価するという話は、普段あまり認識していなかつたため興味深かったです。また、酸塩基平衡の評価の方法を詳しく解説していただき、血液ガスを測定するときに実践してみようと思いました。

最後になりましたが、ご講演いただいた先生と、企画・運営していただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

#研究班

中島 和希 会員 (一般検査研究班 班長)

一般検査研究班の中島です。

この令和6年の4月から班長を拝命しました。

一般検査分野は尿検査をはじめ、髄液検査や糞便検査、穿刺液検査など多岐にわたる材料を取り扱うことから幅広い知識が必要となります。

多くはスクリーニング検査としての役割がある一方で寄生虫検査などは診断に直結する検査となっています。一般検査研究班では、毎年上半期(4月～9月ごろ)では尿定性検査や尿沈渣検査(各成分ごと)、髄液検査や寄生虫検査等を基礎講義として開催しています。

また、上半期以降は認定一般検査技師育成のための研修会や基礎講義を踏まえた中級者・上級者を対象とした研修会の開催にも取り組んでいます。

一般検査分野での近年のトピックスとしては血尿診断ガイドライン2023が10年ぶりに改訂されたことが挙げられます。本ガイドラインにおける尿中赤血球形態の判定は血尿診断のファーストステップに位置しています。ガイドラインを理解することは医師の診断プロセスを学ぶうえで重要であり、医師は我々検査技師に赤血球形態の判定を求めていることがガイドラインからも読み取れます。一般検査研究班では、研修会の開催を通じて臨床医の求める検査結果を各施設が提供できる体制づくりに貢献したいと考えています。会員の皆様には研修会に参加していただくことで日常の疑問を少しでも解決できるよう努めてまいります。来年度以降も皆様のご参加をお待ちしております。

第6回



公立村岡病院

《所在地》〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡3036-1

●概要

施設名	公立村岡病院
病床数	42床
部署人数	技師／1人 応援技師(週3回交代で半日勤務)／3人 男女比／1:3 経験年数／11年目～4人
勤務体制	勤務時間／8:30～17:00 夜勤体制／無
第三者認証	

●検査室で行っている検査領域

検体検査	化学、免疫、血液、一般、遺伝子、輸血
生理検査	心電図、呼吸機能、聴力検査、エコー(腹部、心臓、頸動脈、甲状腺、下肢)

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	生理部門、検体部門 広範囲に対応しています
詳細	常勤技師は1名、超音波検査は週3日間午前中予約制で系列病院からの技師で対応しています。採血業務は看護師が担当していますがPOCT等、必要時は応援しております。病棟患者の生理検査、在宅訪問診療の対応、採血管準備及び機器保守等は午後からの業務とっています。※冬季は降雪地域のため温度・湿度管理は注意しています。

●採血室の状況

台数	2台	採血数/1日	30人
構成メンバー	看護師4人		



●検査領域

分野	年間件数	備考欄
採 血		
化 学	4281	
免 疫		
血 液	4401	
一 般	1713	
微 生 物		
遺 伝 子	277	
輸 血		
病 理		
心 電 図	394	
呼 吸	8	感染対策により一時中止
神 経 生 理		
聴 力	49	
エ コ ー	256	週3日午前中実施

●運用面での工夫など

検査情報の院内連絡は掲示板・電子メール等で各モバイル端末にリアルタイムに伝達しています。電子カルテはクラウド型で在宅診療時にもベットサイドでの運用が可能なため検査結果はオンライン報告しています。生理検査は画像ファイリングシステムを利用し端末での運用が可能としています。DX化を目標にメンテナンス業務日誌、作業日誌、試薬管理等の記録資料はデータ化し必要時に出力にするよう努めています。



文責 西村 雅樹 会員(公立村岡病院)



今回僕が紹介させていただくお店は〈本格江戸前立ち食い鮨ザギンでシースーミノ宮店〉さんです

名前からも想像できる通り、常に人が行き交うミノ宮で本格的な江戸前鮨が食べられるお店です。

個人的に面白いのが、写真の通りで、立ち食いといいながらしっかりカウンター席が用意されてあるところで、お寿司を乗せるお皿などもとても可愛く、ゆっくり食事を楽しむことができます。

場所は阪急三宮西口改札より徒歩1分の三宮横丁内にあります。

お鮨ですがまずは4種類いずれかのコースを召し上がっていただき、お好みで食べたいお鮨を追加するのがオススメです。

こだわりの魚は、本店である高級店の〈鮓 肇〉で仕入れる魚と同じものだそうで、赤酢は3年熟成の赤酢を使用されているそうです。

今回は上5巻コース、うなぎ手巻き、赤出汁、をいただきました。

お寿司では〈熟成天然本鮪赤身〉が丁寧に仕込まれている感じがして、この値段で食べれるの？と思うくらい特に美味しかったです。また、赤出汁はノドグロなどの高級魚のアラから取った出汁で、冷えた体を温めてくれるようなお味で、とても濃厚で美味しかったです。

三宮横丁の良いところとして、他の業態のお店も併設しているので、お寿司を楽しんだ後に他の店舗にも直ぐ移れるところがあります。

皆様ぜひザギンでシースにて本格江戸前寿司を堪能してみてください！

《店舗情報》

店　名	本格江戸前立ち食い鮨ザギンでシースー
住　所	兵庫県神戸市中央区北長狭1-32-24 JR高架下 2F 21号～24号 ☎050-5592-4885
営業時間	平日17:00～23:00 (L.O. 22:30)、土・日・祝日12:00～23:00 (L.O. 22:30)
定　休　日	不定休



会員グルメ情報
数珠つなぎ 69

川中 竣 会員
(関西労災病院)



うなぎの手巻き



大間の本マグロトロ



旨味凝縮濃厚赤出汁

 Together for a better healthcare journey

システムが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600



検体前処理装置 PS-10



専用ローター

フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号: 28B1X10014000009

検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号: 28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の
両者をつなぐ専用ローターを用いることで
検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。
また、PS-10で読み取ったワークリストを
XF-1600に転送することが可能であり、
フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。

製造販売元
シスメックス株式会社
法規適合マーク
注記: フローサイトメーターの適用範囲は標準により異なります。
詳しくは www.tuv.com/EN/093095004 を参照。
Note : Scopes of sites and activities vary depending on the standard.
For detail, refer to the ID 093095004 at www.tuv.com

本社 神戸市中央区鯨浜海岸通1-5-1 〒651-0073
(お問い合わせ先)
支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380
営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707 金沢 076-221-9363
京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788
日本東アジア地域本部 03-5434-8565
www.sysmex.co.jp
2023年8月作成

Canon

私たち 「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であると
キヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。

創業以来、つねに医療関係の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。

その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、
世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。

医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。
私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
そして、ともに歩むために。

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000059-02

